

山松暖暖

だんだんまつやま

vol.

6

Take Free



温故革新
アップデートする
道後、松山へ

あつとりした松山人が
ときに目覚めて発揮する
変革のスピリット

夏の終わりは祭りの後のような寂しさが漂いますが、
今年の松山には、そんなことを感じさせない
賑わいがあります。

「暖暖松山」6号では、
松山の「温故知新」ならぬ「温故革新」の姿を
お届けしたいと考えました。
この街は、歴史文化の蓄積がある
おっとりした城下町。
ところが、新しもの好きが多くて
明治の初めに日本に入ってきた
野球しかり、軽便鉄道しかり、近代俳句しかり、
「まあ、やってみよや」の精神で
とり入れてきたのです。
時として松山のどこにこんなパワーが
潜んでいたのかと思うような、
再生や変革のエネルギーが表れます。
おりしも今年は、道後温泉本館の大還暦の年。
新旧の波動をたっぷりと味わってみてください。

松山の魅力を発信する冊子

「暖暖松山」6号

目次

- 道後古きと新しき
聖徳太子が「理想の国」と讃えた道後温泉が、
前代未聞のエキサイティングな空間になる
- 迷宮をつぶさに拝見
道後温泉本館 解・体・新・書
- 語り継がれる秘話
百二十年の情緒をたどる
- 現代アートの祭典
道後オンセナート2014
- インタビュー
神々しい光に抱かれて 写真家 松本紀生
- 伝統と今 おもちやのような坊っちゃん列車がガタゴトと…
- 進化する伝統工芸
郷愁の布地が現代デザインで蘇る 伊予絨いよかすり
- 話題の味
新たな取り組みを続ける老舗のニューフェイス
老舗宿でいただく今限定のうまいもん
- 食材自慢 松山人に親しまれる味わい 麦味噌
- 松山市街地エリアマップ アクセス



表紙絵：
「椿樹下の聖徳太子と僧惠慈」
(絵：長谷川竹友)
道後温泉本館神の湯2階休憩室に掲示

「伊予国風土記」逸文によると、高麗の僧たちと一緒に道後にやってきた聖徳太子は、神の湯を囲んで真紅のツバキが生い茂り、小鳥が戯れ、まるで理想郷だとして、この地に記念碑を建てたという。この絵は明治の画家・長谷川竹友が描いたもの。

※本誌に掲載されている情報は、
「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。



田舎のおだやかさもあれば、
都会の便利さもある。
文化や歴史の楽しみもあれば、
海や島の楽しみもある。
あったかい温泉もあれば、
あったかい人間味もある。
松山は、何かひとつだけが
スゴイのではなく、
いろんなよさが絶妙に
程よく混ざり合う街です。
気の向くままにいる
楽しみ、味わい、暮らせる街です。
そういう松山らしい、
ちょうどいい豊かさ。
この街に住む人、
訪れる人に、もっともっと。

「サイバー百椿図屏風」：福田泰崇

「道後オンセナート 2014」のプログラムの一つ、資生堂企業資料館所蔵の「百椿図」を3DCGで映像化。道後温泉本館霊の湯2階休憩室の床の間で上映されている(5分間)。椿の古木には精霊が宿るとされることから、精霊としての椿を現代様に解釈。一滴の血液から多細胞生物へ分化、複雑化していく様を描いており、宇宙空間を舞うがごとくダイナミックな動きと鮮やかな色彩が特徴である。「サイバー百椿図屏風」動画のショートバージョンも公開中。「サイバー百椿図屏風動画」で検索

聖徳太子が「理想の国」と讃えた道後温泉が 前代未聞のエキサイティングな空間になる

3000年の歴史を持つ道後温泉は、神代の伝説にはじまり、古代から現代にいたるまで、多くの貴人や文化人が、その湯を求め、訪れている。飛鳥時代、海を渡って来る太子は、道後温泉の霊験に深く感じ入り、自然の真理があらわれた理想の国「天寿国」だと讃えている。

天上の日月が万民を平等に照らし、温泉が万民に等しく恩恵をほどこすように、政治も私心なく行なうなら、その国は天寿国になる、という内容から、道後温泉を太子の目指す理想国家になぞらえたのではないかと思われる。

その後、鉄筋コンクリートに建て替えられることもなく増改築を重ねて、今年120周年の大還暦を迎えた。今、道後では「道後オンセナート2014」と呼ばれるアートの祭典が開催されている。圧倒的な歴史性と文化性を持つ温泉郷に、現代アートという異色の要素が付加されて、街のあちこちは、前代未聞の化学反応が起きている。

明治27年、木造三層楼に大改

築された道後温泉本館は、お城のように堂々と華やかで、当時の人々の度肝を抜く革新的な建物だった。

「霧の彫刻」：中谷美二子

「道後オンセナート2014」のプログラムの一つ。道後温泉本館北面を、霧が滝のように落ちて建物を包み込み、幻想的でダイナミックな景色を作り出す。霧の形状やゆくえんは光や風の具合で変わるため、まさに一期一会の光景。平成26年12月31日までの、9:15から21:15までの2時間ごとに3分間現われる。※天候により中止する場合があります。

道後温泉本館

解体新書

近代和風建築のさわみ

道後温泉本館は、異なる時代に造られた四棟が、増改築を繰り返して現在の姿になっている。山脈のように連なる屋根。迷宮のような館内。どこから見ても美しい佇まい。壮麗な公衆浴場を、目を凝らして見てほしい。

四方八方美人です。

異なる時代の建物が見事に調和

地元の建築家で古建築に詳しい花岡直樹さんに、見どころをうかがいました。



建築家 花岡直樹さん

神の湯本館棟は明治27年竣工時、北側が正面でした。唐破風を付けた3つの入り口は、江戸時代の名残で、左から一之湯(男子)、二之湯(男子)、三之湯(女子)となっていました。現在のように西玄関になったのは、昭和10年頃からです。

使われなかつたので傷みがなく、唯一明治の浴室が残されています。南側には養生湯という別の施設がありました。大正13年に建て替えられて今の南棟に。神の湯本館に準じた和風の楼造りですが、2階3階の階高が高く、外側の建具に大きなガラス戸を用いたところが、ハイカラな大正ロマン風といえますね。

南棟

玄関棟

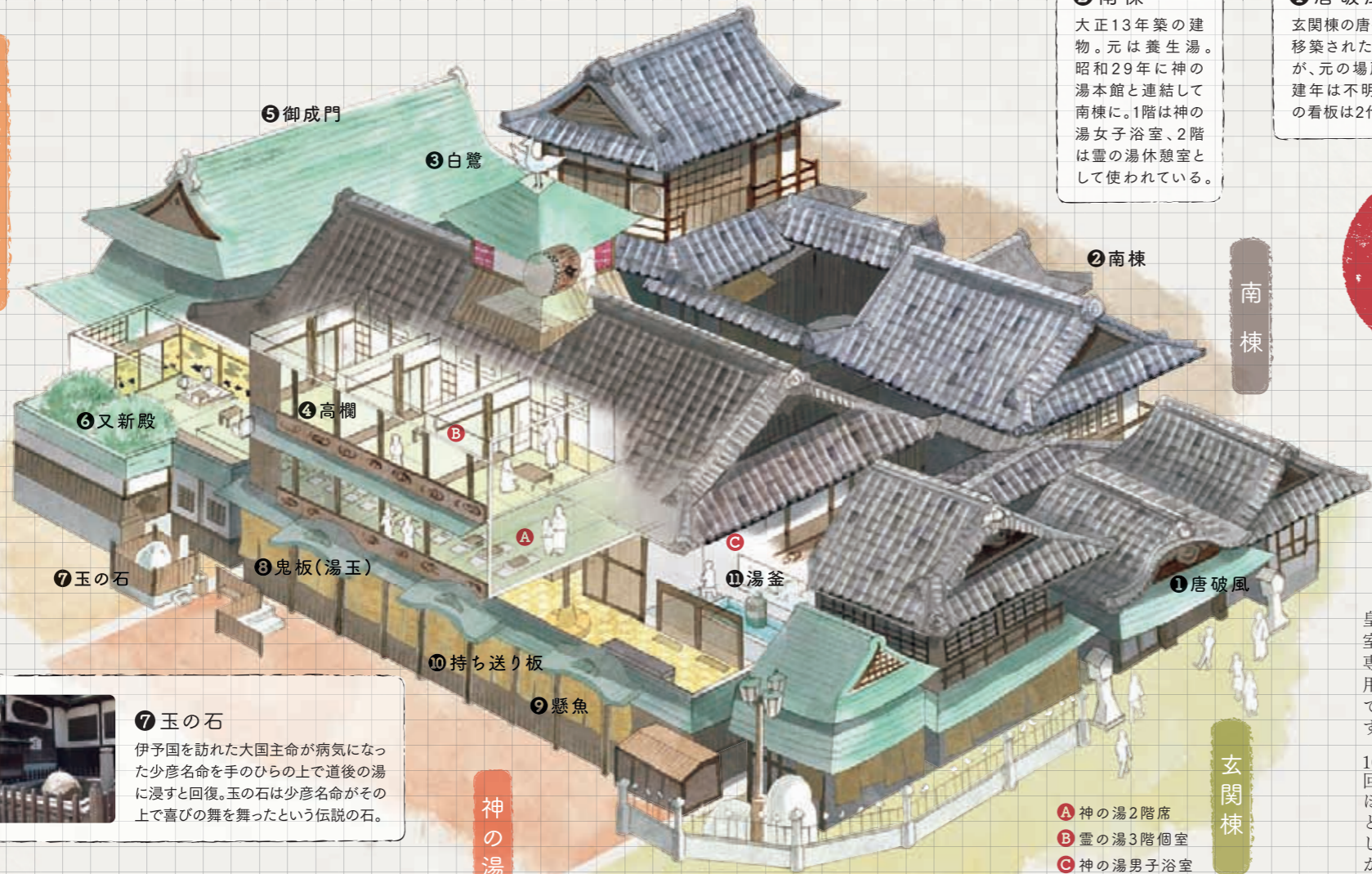


2 南棟
大正13年築の建物。元は養生湯。昭和29年に神の湯本館と連結して南棟に。1階は神の湯女子浴室、2階は霊の湯休憩室として使われている。



1 唐破風
玄関棟の唐破風は移築されたものだが、元の場所や創建年は不明。現在の看板は2代目。

- A 神の湯2階席
- B 霊の湯3階個室
- C 神の湯男子浴室



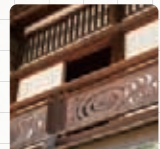
神の湯本館棟

3 白鷺

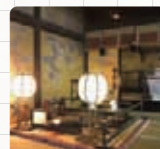
道後には白鷺が傷ついた脚を治したことから温泉が発見された伝説が残る。振鷺閣(しんろかく)の白鷺が北向きなのはこちらが昔の神の湯本館の玄関だから。

4 高欄

濡れ縁(ぬれえん)にめぐらされた腰板。波形の透かし模様が彫られている。湯の流れのつきないさまを表す波形模様で、手彫りのためそれぞれ模様が異なる。



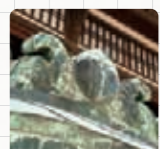
5 御成門
天皇、皇族が訪れた時だけ開かれる門。その奥に見える又新殿の屋根の形もすべて異なり、特別な方々を迎えるための特別な場所を表している。



6 又新殿
全国唯一の皇室専用浴室。休憩室は天皇専用の玉座の間と皇族用の御居間(おいま)がある。桃山風の豪華な造りで、手の込んだ意匠。警護の隠れ部屋も…。



7 玉の石
伊予国を訪れた大国主命が病気になった少彦名命を手のひらの上で道後の湯に浸すと回復。玉の石は少彦名命がその上で喜びの舞を舞ったという伝説の石。



8 鬼板
鬼瓦の代わりに軒先に置く飾りをいう。唐破風の上の鬼板は湯玉型。湯玉は白鷺と並ぶ道後温泉のシンボルで、温泉が勢いよく飛び散る様を表現。湯玉を探してみるのも一興。



9 懸魚
破風板が合わさった所の下やその左右につけて、棟木や桁の木口を隠す装飾板。



10 持ち送り板
軒下の出桁を支える持ち送り板が、波模様の透かし彫りの化粧板になっている。

道後温泉本館
平成6年に現役の公衆浴場として初の国の重要文化財指定を受け、19年にはミシュランのガイドブックで四国の施設で唯一の三ツ星を獲得した。「神の湯」と「霊の湯」の2つの浴室を持ち、2階休憩室、3階個室利用などの連いて、4つの入浴コースがある。

大改築から120年
道後温泉本館改築にまつわるドラマと
一世紀あまりの歴史の一端をひもとく

百年後の道後を
プロデュースした
町長・伊佐庭如矢

初代道後湯之町町長・伊佐庭如矢は、道後を伊豆や別府のような大温泉郷にも負けない、魅力ある温泉地にしたいとさまざまなアイデアで勝負した。目玉となったのは道後温泉本館の改築だ。しかしこれには巨額の費用がかかるため、町の財政破綻を懸念する住民

の中から反対運動が起きて、一時は、身の危険も感じるほどだった。これを如矢は道後の未来を考えれば「百年後の世にも他所が真似できないもの」が必要だと説得したのだった。また、温泉にやってくる観光客を運ぶ手段として、道後鉄道も敷設した。これによって交通の便がよくなり、冬場でも客足が落ちることがなくなった。現在の道後温泉駅西側に、列車の折り返しを行う



振鷲閣(しんろかく)は太鼓櫓。朝6時の開館時と、昼12時、夕方6時の3回打ち鳴らされる刻太鼓(ときだいこ)の音は、「残したい日本の音風景100選」に選ばれている。

百二十年の 情緒を たどる

引き上げ線があるが、これが道後鉄道の線路の名残である。観光客の滞在がより楽しいものになるような工夫も重ねた。入浴客がぶらりと散策できる公園・振鷲園を造り、茶店で串刺し団子を売る。これが現在の「坊っちゃん団子」の原型である。

さらに、振鷲園が手狭になったので、当時荒れ放題だった道後公園に着目。県と交渉し、一大回遊式日本庭園に整備した。この時植樹した花や木が見事に育った今、道後公園は桜の名所になり、市民の憩いの場として親しまれている。

果たして道後温泉本館は、如矢が目指した百年を優に超え、連日大勢の入浴客が訪れる。如矢の精神にならない、カラクリ時計や足湯など観光客を楽しませるおもてなしの心が息づいている。

城大工の血脈を継ぐ 坂本又八郎のプライド

如矢から神の湯本館建築を任された坂本又八郎は、松山城大工の棟梁の家系に生まれ、伝統的な日本建築の技術を極めた棟梁だ。坂本は期待に応えてどえらい建物を建築した。

実は、一見和風の神の湯本館には西洋の建築技法も使われている。神の湯大屋根の小屋組には、洋小屋(トラス)を取り入れた。また、三階からは慶長期築城の松山城と同じ尺度で建てられているのに、振鷲閣は明治政府の布告した



道後繁栄の立役者
伊佐庭如矢

文政11年(1828)~明治40年(1907)

道後湯之町出身。幼い頃より頭脳明晰で知られる。漢学を修め28歳の若さで私塾を開き、多くの門弟を育てた。のちに県吏としても働き、松山城を廃城の危機から救い、財政が逼迫し困窮していた金刀比羅宮(現・香川県琴平町)の立て直しに大なたを振るった。その行政手腕に加えて、県との強いパイプや厚い人望から、請われて明治23年道後湯之町の初代町長に就任した。



平成18年、本館で改築当時のものと思われる色板ガラスが発見され、道後ぎやまんガラス美術館(松山市道後鷲谷町459-1)で展示されている。

外湯が減った今も
浴衣姿で歩く情緒は残る

かつて道後温泉には多くの外湯があった。江戸時代から庶民の湯として親しまれた養生湯、進駐軍用に建てられたしらさぎ湯、家族風呂ブームにのった鳩の湯など、ニーズに合わせて誕生した外湯はいろいろ。カラコンロンと下駄をならして外湯に通う、これが道後の情緒だった。

ところが、昭和半ばに家風呂が普及し、旅館やホテルにも内湯が引かれたため、道後温泉本館と椿の湯を除くすべての外湯は消えていった。それでも道後を訪れる人々は、湯かごを片手に色とりどりの浴衣姿で、道後温泉本館へやってくる。入浴後は商店街をぶらぶら歩いてみやげを探すもよし。外湯が少なくなった今も、道後の情緒は変わらず街を包み込んでいる。



上/大衆用の鷲の湯 下/進駐軍将校用のしらさぎ湯

現行の新尺度で造られている。極めつきはギヤマンの採用だ。現在は振鷲閣の障子に赤いギヤマンがあるだけだが、竣工時は一階のガラス戸にも色とりどりのギヤマンがはめこまれていた。夜になると、珍しい西洋の光を見ようと多くの見物客が集まったそうだ。

これら西洋技術は山梨で擬似洋風建築の学校を造り、縁あって松山に居た棟梁・小宮山弥太郎から学んだものと考えられる。

明治32年、彼は伝統技術の粋を集めた霊の湯と又新殿棟も手がけている。又八郎が持てるすべてを注ぎ込んだのが道後温泉本館なのだ。

道後 オンセナート 2014

温泉街に
ちりばめられた
仕掛けが
感性を自由にする

「道後オンセナート2014」は道後温泉本館改築120周年を記念した国際芸術祭。「アートにのぼせる」を合言葉に、最古の温泉と最先端アートのコラボレーションが繰り広げられている。プログラムでは、国内外で活躍する気鋭のアーティスト

たちが、「霧の彫刻」(P.2・3)のように道後温泉本館をアート作品に作り上げたり、街に体験型作品を点在させたりと多彩である。

なかでも、宿の一角をアーティストがプロデュースする、注目のホテルホリゾンタルでは、草間彌生や谷川俊太郎、荒木経惟などが演出した部屋で宿泊できるというスペシャルな体験もできる。

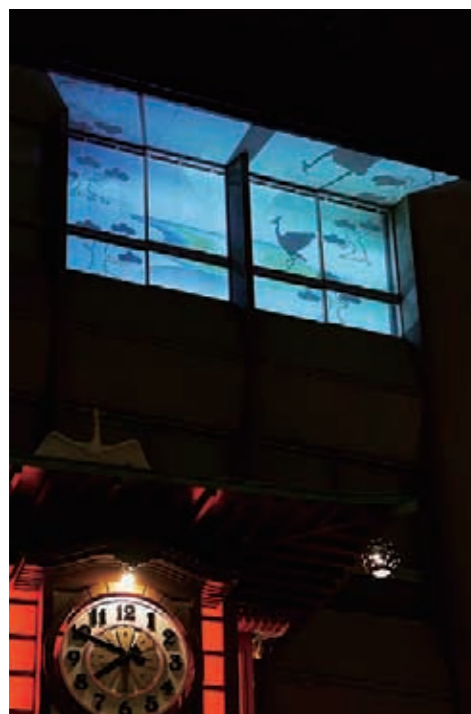
この芸術祭は、昼も夜も道後の街をめぐりながら、斬新な現代アートを楽しむことができるが、ときに心地良い違和感を覚え、不思議な調和を味わい、ときに意外性にとじろぐなど、常識や先入観がくつがえされて、すこぶる刺激的だ。

道後は今、あっと驚くようなワクワクする空間に変身している。

道後オンセナート 2014

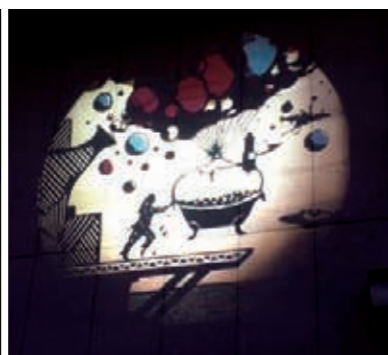
【会期】
平成26年4月10日～12月31日
※ホテルホリゾンタルは平成27年1月12日まで開催

【お問い合わせ】
「道後オンセナート2014」
インフォメーション振鷺亭
☎089-933-0710
11:00～18:00
(金・土・祝前日は21:00まで)、無休
<http://www.dogoonsenart.com/>



「路と鳥(みちととり)」藤木寛子

道後温泉のシンボルである鷺が、過去と未来をつなぐお話を、2分間の影絵アニメーションで展開。坊っちゃんカラクリ時計の背後のビルで見られる。(会期:12月31日まで、18時～22時)



「大影絵／道後夜話」スティーヴン・ムシン

氷河が解けて海拔が70m上がった千年後の道後。地熱で膨らんだバルーンが本館を持ち上げて空中に浮かぶ。人々は長い梯子を上ってお湯に入り、眼下の海にダイブする…。そんな空想世界を美しい影絵で表現したもの。道後の13カ所で投影されている。(会期:12月31日まで、18時～22時)



葉山有樹 × ふなや 「藍」

佐賀県に窯を構える作家がプロデュース。四方には、中国の伝統文様で一族繁栄を願う吉祥文様の「魚藻文」が描かれており、まるで水中世界のような。作家は広島在住の建築家。
☎松山市道後湯之町1-33 ☎089-947-0278

谷尻 誠 × 道後プリンスホテル 「Sketch」

部屋じゅうのすべての物にペイントして油彩画のように仕立てた客室。平面の絵の中に迷い込んだような錯覚に襲われる。作家は広島在住の建築家。
☎松山市道後姫塚100 ☎089-947-5111



★藤木寛子の「路と鳥」
●スティーヴン・ムシンの影絵

夜は影絵めぐりが
おもしろい

温泉街は艶めいた夜が魅
力だが、道後の夜をいっそう
彩るのが、小さきさまざまな影
絵である。

道後の入り口・放生園の、
坊っちゃんカラクリ時計の
背後の窓には詩情あふれる
影絵アニメーションが投影
されている。

また、あちこちのホテル・店
舗の壁に浮かび上がっている
影絵を探すのも楽しい。これは
未来の道後の姿を空想して描
き出したもので、空中に浮かぶ
本館だったり、バスタブから海
に飛び込む姿だったり、松山城
と温泉がケーブルカーで繋
がったりと、荒唐無稽のよう
でもあり現実味があるようでも
あり、さまざまな世界が、観
る者の想像を逞しくする。

泊まれるアート作品
ホテルホリゾンタル

水平に展開し連携しているこ
とから命名されたプログラム。著
名なアーティスト9名が、9軒の
ホテル・旅館の1室を、「最も深い
夢『The deepest dream』の共通
テーマのもとに、それぞれの美
意識で演出。部屋は泊まれるが、
見学のみもOK(有料)。



草間彌生×宝荘ホテル

HOTEL HORIZONTAL

参加ホテル・旅館

荒木経惟×ホテル古湧園／石本藤雄×茶玻璃
KIKI×ホテルルナパーク／草間彌生×宝荘ホテル
ジャン＝リュック・ヴィルムート×道後やや
谷川俊太郎×道後館／谷尻 誠×道後プリンスホテル
葉山有樹×ふなや／皆川 明×花ゆづき ※五十音順

※平成27年1月12日まで開催。見学の時間帯と滞在時間などに制限が
あり、各ホテル・旅館によって異なるので、お問い合わせのこと。

神々しい光に抱かれて
写真家 松本紀生



豪雪や強風をこらえて、待ち望んだオーロラが現れた時は、神様からのご褒美のよう。

20年前から毎年6ヵ月ほどアラスカへ撮影に出かけています。夏は北極圏や無人島でキャンプをしながら熊や鯨を、冬はマツキンリー山麓の氷河の上にかまくらを作ってオーロラを撮ります。学生時代、悔いのない人生を送りたいと望みつつも、どうしたら叶うのかわからず、重い日々を過ごしていました。そんなとき出会ったのが、星野道夫さんの本『アラスカ光と風』。彼のような写真を撮りたい。とはいえ、ずぶの素人。写真家になれるのかと悩みましたが、結果より目標に向かって努力する過程が大事であると気づいてから一直線に進みました。



8月末の北極圏は一面に紅葉が広がる。山はすでに雪を抱き、冬の到来を告げる。



松本紀生
(まつもと のりお)

1972年松山市生まれ。立命館大学を中退してアラスカ大学編入。独学でキャンプや写真の技術を得た。作品は「National Geographic Adventure」など国内外の著名誌で発表。日本滞在中は全国の学校や病院で「アラスカ・フォトライブ」を開催。著書に「原野行」(クレヴィス)など。

ます。でも失敗だったと思わない。最大限の努力をしたことが重要だと考えています。些細なことが命取りになる厳冬の阿拉斯カ。こんな極限の中で世界一美しい光景を独占する瞬間があります。これがアラスカの醍醐味。ひたすら耐えて待つ一人きりの撮影ですが、1日に10分ほど衛星電話を使います。妻の居る松山とつながる、貴重な時間です。



和田重次郎 (1875-1937)
愛媛県西条市に生まれ松山で育つ。17歳でアメリカに渡航。金鉱探しに生涯をかけたアラスカ開拓の先駆者。新田次郎の短編「犬糞使いの神様」は彼の伝記的小説。

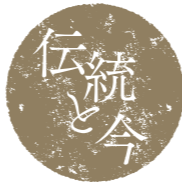
かつてアラスカで
夢を求めた松山人

鉄道マニア垂涎の地
ダイヤモンドクロス

松山には、道路上にある軌道(路面電車)と鉄道線路(郊外電車)が平面交差する全国でも非常に珍しい場所が、大手町駅のそばにある。昭和11年に西堀端から松山駅前の路面電車が開通した際、この平面交差が生じた。通称「ダイヤモンドクロス」と呼ばれ、文字通り交差する線路が菱形のダイヤモンドのような形をしていることからネーミングされている。全国からたくさんの方々が訪れ、この場所を写真に収める姿がよく見られる。



どちらも伊予鉄道。ダイヤモンドクロスでは郊外電車が優先。路面電車は自動車と同じように信号待ちをして通過を待つ。



おもちゃのようなお坊ちゃん列車が
ガトゴトと...

いくつもの課題をクリアして
レトロな姿が復活

明治21年の営業開始から昭和29年に第一線を退くまで走り続けて多くの市民に親しまれた「坊っちゃん列車」。引退後も地域からの復元運行を望む声が多く、平成11年に復元プロジェクトのチームが発足した。

戦火により列車の設計図が焼失していたため、市内の公園に展示してある1号機関車を実測するなどして図面を製作した。また、環境面から蒸気機関車として復元し黒煙をあげながら走ることはやめて、



ディーゼルエンジンを採用。煙突やシリンダーからは舞台装置などで使うスモークや水蒸気を出し、蒸気機関車特有のドラフト音を車外のスピーカーから出すなどして当時のイメージを残す演出も工夫した。こうして平成13年10月、生まれ変わった坊っちゃん列車がお目見えし、以来、観光客を中心に人気を集めている。



松山市駅を出た昭和28年頃の坊っちゃん列車(写真提供:伊予鉄道株式会社)

小さなハギレを大切にしたり、精神も受け継ぐ

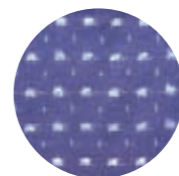
日本三大絣のひとつ「伊予絣」は、素朴な文様を染め抜いた木綿紺絣で、19世紀初め松山の鍵谷カナによって編みだされた。藁葺き屋根の葺き替えの時、押し竹を縄で縛っていた跡が白くなっているのを見て、文様になる部分を糸で括って染めれば、藍が染みこまないことを思いついたという。当時、機織りは農家の副業で、織りも文様も稚拙だったが、機械の改良により文様が多彩になった伊予絣は、明治37年には全国絣生産の約4分の1を占め、生産量日本一を誇った。

安くて丈夫なうえに、夏は涼しく冬は暖かく、着こむほど体になじんで風合いをますます、野良着や普段着にはじまり、布団地、おむつ、雑巾へと、とことん使い回されて、布としての役割をまっとうした。だが、生活に溶け込んでいた伊予絣も、化学繊維の台頭やライフスタイルの変化で生産は減少し、暮らしてから遠のいた。こうした状況に風穴を開け

郷愁の布地が現代デザインで蘇る
伊予絣



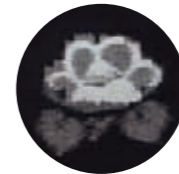
中矢敬子さん
伊予絣でただ一人の伝統工芸士、中矢敬子さん。この道54年のベテランも、一番難しいのは「絵柄を合わせること」だと語る。伊予かすり会館にある初期の高機(たかばた)、その後の足踏織機、動力織機のいずれも使いこなす。伝統工芸を次代につなぐため、小学校で指導にあたる。



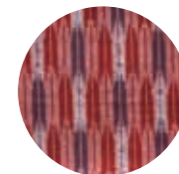
アラレ



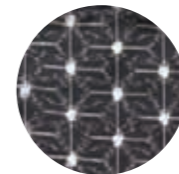
井桁文



椿文



矢絣文



麻の葉文

ようと、鍵谷カナの没後150年のメモリアルイヤーにあたる2014年、松山在住の女性クリエイター集団「和音ファクトリー」が、伊予絣を使った商品の開発に取り組んだ。「小豆3粒包めれば捨てちゃいかん」という昔の人の思いを大切に、伊予絣のハギレや文様を効果的に用いた、お洒落で手頃な価格の商品を提供して、絣の魅力に目を向けてもらうのがねらいだ。



和音ファクトリー
伊予かすり会館前の鍵谷カナの胸像をバックに、和音ファクトリーの女性たち。左から永井史子さん、代表の石川智子さん、高橋順子さん、田村和子さん。なじみのなかった伊予絣と出会い、「伝統文様はすごくモダン」「カラフルでかわいらしい」「愛着を覚えた」と魅力を語る。

①～③ 伊予絣はデニムや帆布と相性抜群。和音ファクトリーは、テキスタイルの一部に伊予絣の文様を使ったり、伊予絣をアクセントに使うなどの工夫を凝らして手頃な価格を実現させた。小さなハギレも大切に鍵谷カナの意思を具現化している。そのカナにちなんで斬新なロゴマークは石川智子さんのデザイン。伊予かすり会館や道後のみやげ物店・歩音(あるね)で販売。

- ① 鍵谷カナメモリアルロゴTシャツ 1,800円
- ② 鍵谷カナメモリアルロゴコースター 290円
- ③ 鍵谷カナメモリアルロゴトートバッグ 4,000円

④ ハーフタオルハンカチ「蒼想～so-so～」
今治のタオルメーカー田中産業と、伊予かすり会館が共同開発した。伝統の藍を基調にして絣の柄を再現。素朴だが、お洒落な雰囲気魅力だ。25.0×12.5cmの長方形サイズで柄は4種類。伊予かすり会館や松山城ロープウェイ乗り場隣にあるルブリュマツヤマ店で販売。

- ④ 蒼想 ハーフタオルハンカチ 864円



民芸伊予かすり会館

資料展示、製造工場、販売所などが揃った伊予絣の展示館。館内に響く機織りの音や藍の匂いが懐かしさを誘う。藍染体験や裂(さき)織り体験ができる(有料)。

- 📍 松山市久万ノ台1200 ☎ 089-922-0405
- 🕒 8:10～16:50(12/31、1/1は8:10～15:00)
- 🗓 年中無休 🎫 入館100円

老舗宿でいただく今限定のうまいもん

※メニュー内容は季節によりかわります。



大和屋本店
瀬戸内の食材の良さをいかした「島ひじきと里芋の野菜天ぷら」などが特別に追加され、厳選した地元食材を用いた料理が楽しめる。料金は2,000円(税・サ別)、食事のみの利用可、要予約。
①松山市道後湯之町20-8 ☎089-935-8880



花ゆづき
瀬戸内の旬を味わえるよう心がけた朝食。瀬戸内の鯛のみりん干しやえびのじゃこ天など、朝でも食欲をそそる献立になっている。料金は1,500円(税別・サ込)、食事のみの利用可、要予約。
①松山市道後湯月町4-15 ☎089-943-3333



「道後オンセナート2014」にちなんで提供されるプレートランチ。各ホテル・旅館とも統一の砥部焼の皿を使い、その上にまるでアートのような料理を盛り込む。料金は各ホテル・旅館共通で2500円(税別)。要予約で1日限定20食(12月31日まで提供)。

茶玻璃
会席をワンプレートにしたような上品さで、見た目にも舌にも彩り豊かなランチ。旬の食材をふんだんに盛り込むのはもちろん、人気の鯛飯や自家製のデザートプレートも付く。
①松山市道後湯月町4-4 ☎089-945-1321

その他の提供宿
道後館 / 道後山の手ホテル / 花ゆづき
ふなや / 大和屋本店 ※五十音順

朝食 しまのわ 道後朝飯

愛媛・広島瀬戸内海周辺で開催されるイベント「瀬戸内しまのわ2014」にあわせて、道後のホテル・旅館で提供されている朝食。瀬戸内の旬な食材を使って、朝食バイキングや和定食スタイルなど、凄腕料理人たちが腕を振るう(10月26日まで提供)。

その他の提供宿

古湧園(宿泊客のみ) / 宝荘ホテル(宿泊客のみ) / 茶玻璃(食事のみの利用可、要予約) / ホテル椿館 別館(食事のみの利用可、要予約) / 道後館(限定宿泊プランでのみ提供) / 道後プリンスホテル(宿泊客のみ) / ふなや(食事のみ利用可、要予約)
※五十音順

昼食 道後オンセナート ランチプレート



中野本舗 館(あん)ファン ウスズミキューブ

薄墨羊羹と同じ館を使い、「洋」のチョコやキャラメルとコラボした商品。和洋折衷の館の美味しさが、2cm角の可愛らしいサイズでお洒落に味わえる。中野本舗直営店(本社工場店・大街道本店・湊町店)、松山市内百貨店などで販売。1箱9個入り388円、3箱セット1,166円。☎089-958-3355



うつば屋 復刻巴里恋(ぱりっこ)

元々はバリへの憧れから生まれたという商品。80年代に販売を終えたが、あるラジオ番組から火がつき、平成23年に「復刻 巴里恋」として再登場。栗粒の入ったミルク館のおまんじゅうをチョコレートでコーティングしており、素朴な甘さは昔のまま。うつば屋直営店(平田本店・小坂店)、松山市内百貨店、空港などで販売。4個入り648円、8個入り1,296円。☎0120-331612



栄光酒造 香来夢(こらいむ)

日本屈指の生産量を誇る松山産のライムを使い、「まつやま市民ブランドをつくる会」に集まるさまざまな人たちの声を拾いながら生まれたお酒。ライムの課題である苦味やえぐみをしっかり抑え、すっきりと飲みやすい。シャーベットなどで使うのもおすすめ。栄光酒造、愛媛県内スーパー、百貨店、酒店などで販売。300ml 756円、720ml 1,512円。☎089-977-0964



新たな取り組みを続ける
老舗のニューフェイス
伝統を重んじつつも
新しさを追求する松山の老舗たち。
時代が求める味を
生み出し続ける姿が
そこにある。





松山市街地 エリアMAP

松山は中心部に都市機能が集まり、移動手段には路面電車が活躍する、非常に便利なコンパクトシティ。街の真ん中にはお城がそびえてランドマークとなり、道後温泉は市街地から路面電車で10分余りの近さ。とても旅がしやすい城下町です。



アクセス

東京から1時間半でひੱつ飛び！

- | | |
|-------|--|
| 飛行機 | 羽田空港～松山空港 約1時間30分(JAL, ANA)
成田空港～松山空港 約1時間40分(ジェットスター)
(松山空港から市内中心部まではリムジンバスでたった20分) |
| JR | 東京駅～(新幹線 約3時間30分)～岡山駅～(予讃線 約3時間)～松山駅 |
| JR+船 | 東京駅～(新幹線 約4時間)～広島駅～広島港～(高速船 約70分)～松山観光港 |
| 長距離バス | 東京駅～松山駅 約12時間20分 |



松山でははだか麦がたくさん栽培されているが、瀬戸内海沿岸で獲れるはだか麦は高品質だといわれている。収穫のピークは5月下旬。(写真提供:愛媛県農林水産研究所)



郷土料理「伊予さつま」すりつぶした魚と麦味噌をだし汁でのばして薬味を散らす。食欲のない夏場にもおいしく食べられる。

生産量日本一の
はだか麦を使った
懐かしい風味の田舎味噌
松山人に
親しまれる味わい
麦味噌

25年以上、はだか麦の生産量日本一を誇る愛媛県。脱穀すると簡単に穀粒の皮が取れてしまうことからこの名で呼ばれ、昔から米の裏作として冬から春にかけて栽培されてきた。松山ではそのはだか麦を使った麦味噌が多く作られ、松山人にとっての味噌といえば、麦味噌を指す場合が多い。
愛媛の麦味噌は、麴をふんだんに使うことが特徴だ。その味わいは、甘みが強く、麴の良い香りがして、特有のうま味が引き立つ。味噌汁をはじめ、郷土料理の伊予さつま、野菜や魚のホイル焼き、炒めもの、煮物に付けて田楽風にするなど、さまざまな料理に使われている。

「主婦が幸せに暮らせる街」で、松山市が全国5位に輝く！



学研パブリッシングが行った調査「主婦が幸せに暮らせる街」*ランキングで、松山市が全国5位にランクインしました。上位都市は「自然が身近」「歴史がある」「文教地区」「交通至便」「ショッピングの充実」などの共通点を持ちますが、松山市は、なかでも家族仲が良く、ママ友との関係も良好、子育て環境に恵まれていることが幸せ度の高さにつながっているとわかりました。

*学研パブリッシングがアラサーママ向けマガジン「aene(アイエネ)」の創刊にあたって平成26年5月に実施。全国813都市から主婦が幸せに暮らせる街として上位104都市を選定、さらに全国20～40代の主婦4793人を対象にしたインターネット調査でランキングトップ50を作成。



松山発のオリジナルアニメが観光映像大賞の特別賞を受賞！

米国アカデミー賞公認の短編映画の祭典「ショートショート フィルムフェスティバル&アジア2014」において、道後温泉や松山城など松山市内の代表的な観光地を舞台にした冒険活劇アニメーション「マツとヤンマ」とモブリさんが、第三回観光映像大賞の特別賞を受賞しました。今回の受賞を機に、ちょうどいい暮らしのできるいい加減なまつやまを、さらに全国へ、そして世界へ発信していきます。

「YouTube」にて絶賛公開中！
だんだん松山 検索



1組 2名様

① 松山・道後温泉の旅にご招待 成田～松山往復航空券+ふなや1泊2食付宿泊券

ふなやは江戸時代創業の老舗旅館。道後オンセナート2014では、深い藍色の魚藻文が美しい客室や広い庭園のライトアップが楽しめます。成田～松山を結ぶジェットスターの航空チケットをセットにした宿泊券で、松山・道後の旅をお楽しみください。

協賛元：(宿泊)ふなや ※宿泊は平日限定で一般のお部屋になります。航空券および宿泊券の利用は繁忙期を除きます。 <http://www.dogo-funaya.co.jp>

松山への旅や特産品など
素敵なプレゼントが
当たります

『暖暖松山』6号はいかがでしたか。
お読みいただいた方の中から、
抽選で松山の素敵なプレゼントが
当たります。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
応募締切/2014年10月3日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

10名様



② 中野本舗から 「餡ファン ウズミキューブ」 (3種類1箱ずつをセット)

薄墨羊羹で知られる中野本舗が、もっと若い人にも和菓子を食べてもらえるようにと昨年発表。キャラメル、ショコラ、クラシックがあり、クラシックは薄墨羊羹そのもの。

協賛元：中野本舗
<http://www.usuzumi.co.jp/>

10名様



③ うつぼ屋から 「復刻巴里恋」 (8個入りを2箱セット)

松山で長らく愛された和洋折衷菓子の復刻版。白餡をミルク餡に変えるなど現代風に進化させました。パッケージもレトロです。

協賛元：菓匠 うつぼ屋
<http://www.utuboya.co.jp/>

5名様



④ 和音ファクトリー(ハンドメイドtam)の 「伊予餅トートバッグ」 (鍵谷カナ メモリアルロゴ)

丈夫なデニム生地に、ロゴを大胆にデザインし、手提げ部分に伊予餅の布きれをあしらったお洒落なトートバッグ。赤色、藍色、灰色があった緑色の3種類あります。

協賛元：和音ファクトリー(ハンドメイドtam)
※色の指定はできません

3名様



⑤ まつやま農林水産物ブランド認定 「紅まどんな3kg程度」

愛媛で生まれた高級みかん。果肉はゼリーのようで甘くてジューシー、種がなくて食べやすいことから、みかんの中でも圧倒的な人気を誇ります。皮が薄いのでカットフルーツに最適。
※発送時期は12月頃になります。

協賛元：まつやま農林水産物ブランド推進協議会
<http://www.matsuyama-brand.com/>

ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ)②本誌を読んだ感想③〒住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要)サンケイリビング新聞社 企画開発部

「暖暖松山」プレゼント事務局

◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報申込者の承諾なく第三者に提供することはございません(法令等により開示を求められた場合を除く)。

◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。

◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-5800)。

◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhögoseido.html>

◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2014年10月3日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

パソコン・スマホでご応募

<http://www.dandanmatsuyama.com>



暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

2014年8月発行/企画・発行：松山市 産業経済部 都市ブランド戦略課 TEL089-948-6707

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

暖暖松山編集部：サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影：恒岡健太 アートディレクション・デザイン：相澤事務所 タイトルデザイン：漆原悠一(tento)

印刷・製本：NTTオリス 配布：サンケイリビング新聞社

この冊子は、再生紙とベジタブルインキを使用しています

※掲載データにつきましては、2014年7月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複製、及び転載を禁じます

